

製品名: PGDウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16027**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	PGD
別名	PGD; PGDH; 6-phosphogluconate dehydrogenase; decarboxylating
遺伝子 ID	5226.0
SwissProt ID	P52209
免疫原	抗血清はヒト PGD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

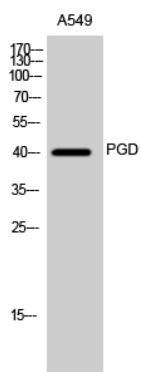
6-ホスホグルコン酸脱水素酵素は、ペントースリン酸シャントにおける 2 番目の脱水素酵素です。この酵素の欠損は一般的に無症状であり、この疾患の遺伝形式は常染色体優性です。溶血は、6-ホスホグルコン酸脱水素酵素と 6-ホスホグルコノラクトナーゼの複合

欠損によって引き起こされ、2つの酵素疾患の相乗作用を示唆しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015年1月]、触媒活性: 6-ホスホ-D-グルコン酸 + NADP(+) = D-リブローズ 5-リン酸 + CO(2) + NADPH、経路: 炭水化物分解; ペントースリン酸経路; D-グルコース 6リン酸からの D-リブローズ 5リン酸 (酸化段階) : ステップ 3/3。類似性: 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素ファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。、

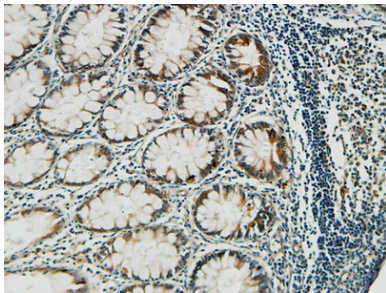
研究分野

ペントースリン酸経路; グルタチオン代謝;

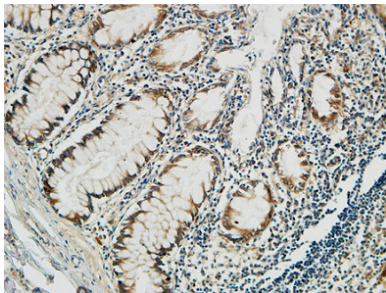
画像データ



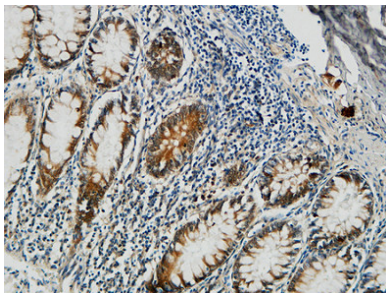
PGDポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析



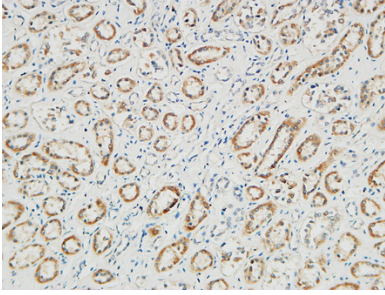
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



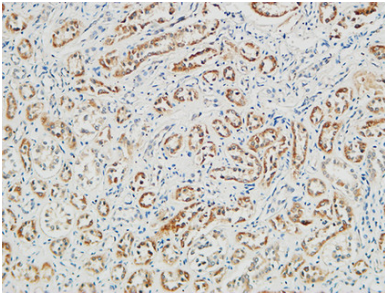
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



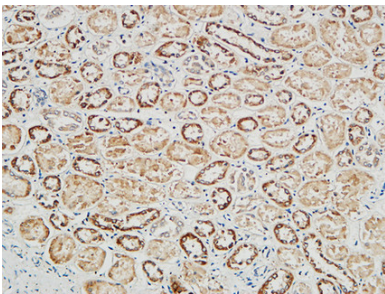
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:400 (4°、一晚) に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:400 (4°、一晚) に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:400 (4°、一晚) に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。